

令和3年度厚木市公共下水道事業決算の概要

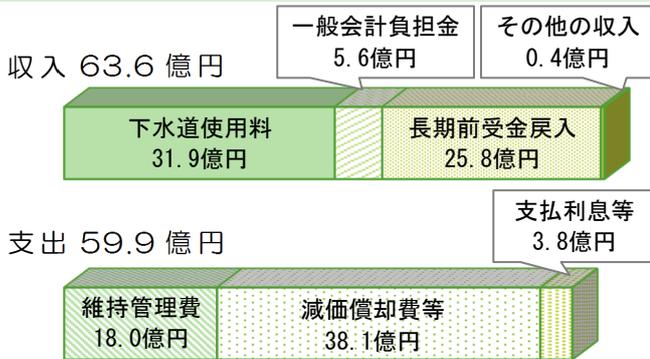
令和2年度に引き続き、大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管や雨水貯留管の整備を進めました。また、市街化調整区域の污水管整備や、古くなった管渠の改築工事を実施しています。

1 業績ハイライト（前年度比較増減）

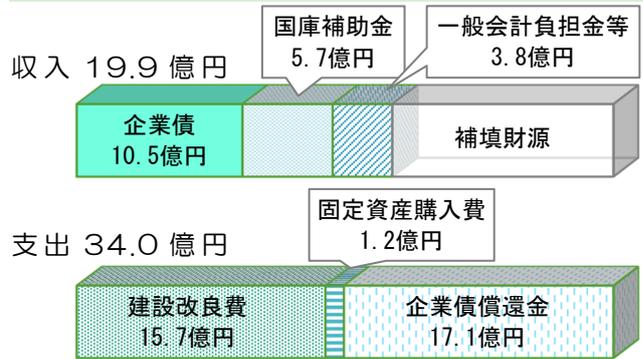
有収水量	2,602万 ^m (+7万 ^m)	処理区域内人口一人当たり356.6 ^ℓ /日
維持管理費	16.6億円 (+1.5億円)	管渠費・流域下水道負担金増など(税抜)
投資額	16.9億円 (+4.9億円)	管渠建設費・管渠改良費増など(税込)
収益	60.7億円 (+0.6億円)	下水道使用料増、長期前受金戻入減など
費用	57.8億円 (+0.1億円)	委託料増、企業債利息減など
当年度純利益	2.9億円 (+0.5億円)	企業会計移行後、2年連続で純利益計上

2 収支の状況

収益的収入及び支出（税込）

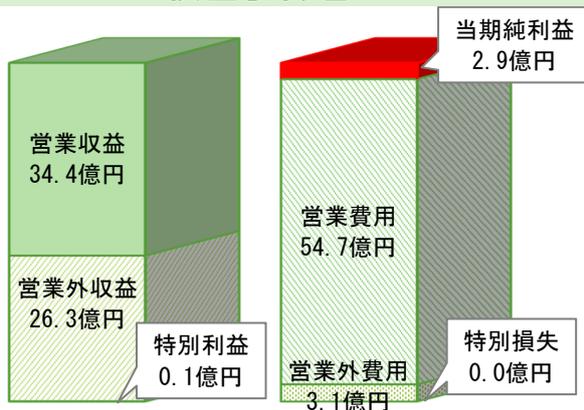


資本的収入及び支出（税込）

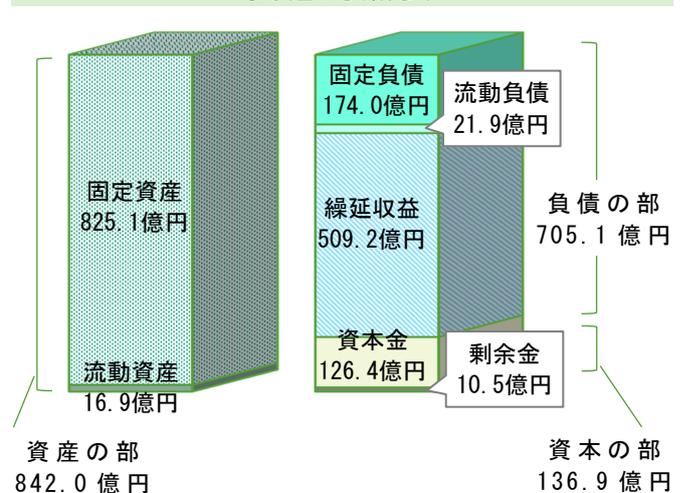


3 財務諸表

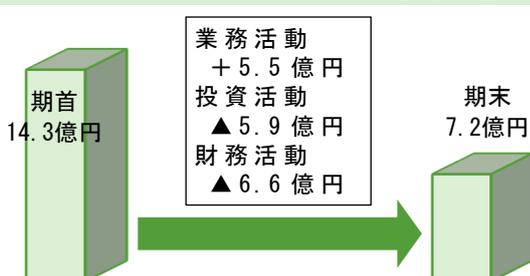
損益計算書



貸借対照表



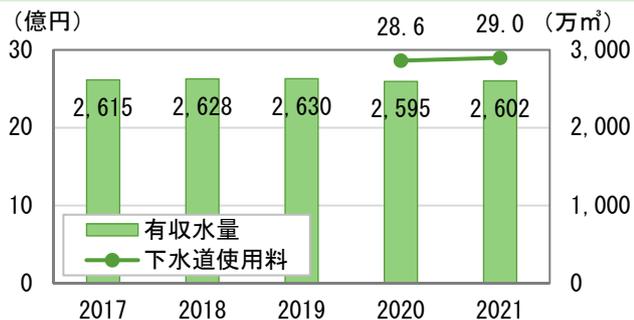
キャッシュ・フロー計算書



注) 各数値を四捨五入しているため、合計額等と一致しない場合があります。

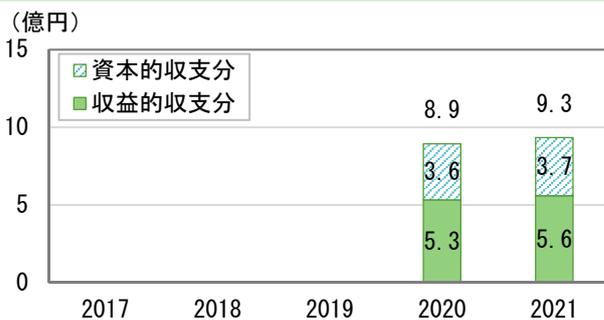
4 経営指標等の推移

有収水量と下水道使用料（収益）



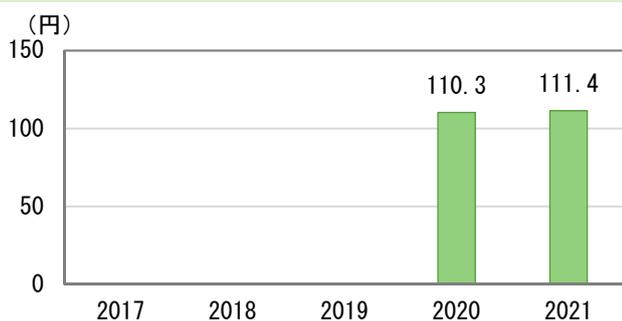
令和2年度に落ち込んでいた事業活動が回復傾向にあり、有収水量・下水道使用料ともにやや上昇しました。

一般会計からの繰入額



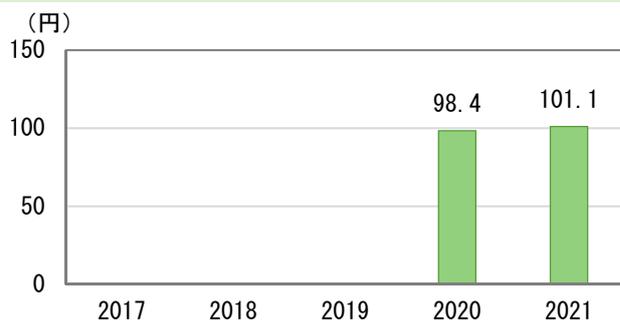
総務省が定めた基準に基づき、一般会計から繰り入れたもので、維持管理費（調査委託料）の増加等により0.4億円の増額となりました。

使用料単価



厚木市では、排水量が多いほど単価が高くなる累進性を採用しているため、大規模事業所からの排水量の増加に伴い、1.1円上昇しました。

汚水処理原価



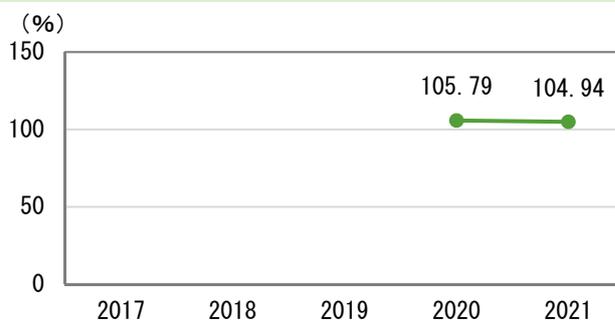
令和3年度は、維持管理費（調査委託料）の増加等により、1m当たり2.7円上昇しました。

経費回収率



費用の増加により前年度から1.89ポイント低下しましたが、経営目標の100%以上を達成し、健全な経営状況が保たれています。

経常収支比率



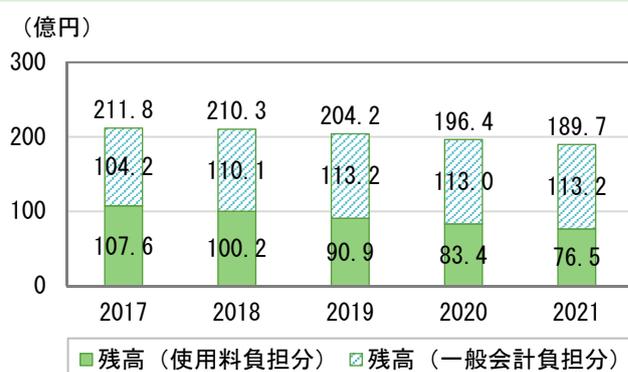
前年度から0.85ポイント低下しましたが、単年度収支が黒字であることを示す100%を上回りました。

流動比率



経営目標の100%を下回っていますが、前年度から6.6ポイント上昇しました。流動負債21.9億円のうち、翌年度に償還する企業債が15.8億円を占めています。

企業債残高



污水管を整備していた時期の企業債の償還が進み、企業債残高は6.7億円減少しました。